

趣 意 書

「チャイルドライン」は、1986年英国BBC放送の特集番組をきっかけに、子どものためのホットラインとしてイギリスで誕生しました。日本では1998年、「いじめよ、とまれ！」を合言葉に「世田谷こどもいのちのネットワーク」の活動の中から出発し、現在41都道府県72団体が実施(2016年3月現在)、全国にネットワークが広がっています。

「チャイルドライン」は、子どもが掛ける子ども専用電話です。子どもであれば誰でも電話をかけることができます。内容はどんなことでもOK、匿名でかけられ、秘密は絶対に守られます。子どもがホッと安心できる“場”のひとつが「チャイルドライン」です。そして、電話に寄せられた子どもたちの「声」から、子どもの現状を社会に伝え、子どもたちが健やかに育つ社会環境をつくっていくことも大切な役割です。

『チャイルドラインうえだ』は、平成17年6月から設立準備を始め、平成18年2月に運営委員会を立ち上げ、その後4月から9月まで全12回に及び受け手養成講座を開講し、10月から毎週水曜日の午後4時より9時まで、研修を受けたボランティアが電話受付をスタートしました。平成20年5月からは、全国統一フリーダイヤル化が実現しています。平成23年度から毎週木曜日・隔週水と開設日を増やし、多くの子どもたちの心の声を聴いております。

『チャイルドラインうえだ』は運営委員会による自主事業であり、長野県、長野県教育委員会、上田市及び上田市教育委員会の後援を得て活動・運営していますが、受け手は言うに及ばず受け手を支える「支え手」や活動全般を下支えする運営委員も含め全員がボランティア参加で活動し、子どもたちの現在に向き合うと共に明日の子どもたちを見守っていきます。

受け手養成講座の開催、子どもたちに電話番号を知らせる『カード』・パンフレット・広報紙等の作成、チャイルドライン室の維持管理等、多くの経費が必要となります。子どもたちから信頼される質の高い『チャイルドラインうえだ』を作っていく為、カード協賛並びに法人・団体賛助会員への加入にご理解とご支援、ご協力をいただけますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、カードは年1回(30万枚)、県内全小中高校(養護・定時制含む)の全児童生徒及び子どもの集まる場所に配布します。ご希望が有れば、カード協賛企業(者)のお名前を掲載させていただきます。(1回配布につき)

チャイルドラインうえだ運営委員会
運営委員長 小林 彰

記

- | | | | |
|---------------|---|----|-----|
| 1. 個人 賛助年会費 | : | —□ | 千円 |
| 2. 団体法人 賛助年会費 | : | —□ | 5千円 |
| 3. カード協賛金 | : | —□ | 5万円 |

[事務局] 特定非営利活動(NPO)法人シャイン

〒386-0034 上田市中之条 222-1

事務局直通電話 090-3565-7086

NPO シャイン事務所 0268-27-2796